



# 無事に修学旅行が終了しました

平成二十二年度の沖縄修学旅行が十一月十七日から二十日の三泊四日の日程で行われました。

事前学習では班学習や個人学習等を通じてしっかりと旅行ノートを作成する生徒が多く、十分に学習ができた上で六十四名が出発しました。

旅行中の沖縄は例年に比べると気温が低いようでしたが、寒い地域から来た私達にとっては非常に過ごしやすい気候でした。

今回の修学旅行で長野原高校では初めて、数種類の「マリンスポーツ体験」をしました。

当日の天候は風が強く小雨が降っていましたが、全員がグラスボートに乗り、スノーケリング・磯釣り・フォトフレーム作りの班別体験ができ、多くの生徒が楽しかったという感想を述べていました。

今回の旅行では大きな問題もなく、しっかりとした服装や時間通りの行動など、生徒の良い部分が多く見受けられました。

また添乗員さんからも「全員がしっかりと話を聞いてくれて感動した」という感想も聞かれました。

今回の旅行にあた



校長 田村 吉廣

## 事実と解釈には違いがある！

新しい年が始まりましたが景気はなかなか好転せず、社会も何か落ち着かない、そんな日々が続いて気になります。

それでも三年生の進路は年末までにほぼ決まり、あと一息というところまでできました。生徒諸君の頑張り、関係者の方々のご支援に感謝します。

ところで、こんな世相を反映してか就職支援に関する研修会が何回かありました。そんな中で、ある講師が実際に例を挙げながら触れた

「多くの先生や関係者の方にお世話になり、感謝の気持ち一杯です。また、生徒はこの旅行を通じて多くのことを学んでくれたことと思います。この経験を生かし、大きく成長することを願っています」



平和記念公園でお祈りしました

## 長高講話から

本年度、二回目の「長高講話」を十一月十日に開催しました。

本年度は、就職戦線も非常に厳しく、三年生も苦戦しており生徒のなかには「フリーターでもいいや」と思っている人もいるかもしれない、そうしたことを考慮して、NPO法人キャリア倶楽部の理事長の太田和雄先生に「安易にニート、フリーターにならないために」という演題で講演をお願いしました。

先生は三十年にわたり、人事・採用や教育に携わり、六年前にキャリア倶楽部を設立し、理事長に就任し、ニート状態の若者の支援に携わっておられます。そうした経験から安易にフリーターを選んだり、ニート状

の数だけある』『事実を変えられないが、解釈は変えられる(変化する)』『解釈の質が、人生の質を分ける』というものでした。

「なんで自分が…」と、自らの不運を嘆くことは当然のことかもしれない。しかし、それをどう捉(とら)え、どう行動していくかによってその先の人生が大きく変わっていくのが例が示すとおりです。

『』の前身…とても深い言葉です。よくよく味わってください。



生徒に語りかける太田氏

態を続けることがいかに人生にとってのマイナスになるのかを、金銭的な面などからわかりやすく解説されました。

「人生お金だけではない」とはあたり前ですが、かと言ってお金のない生活も困りものです。こうした話から、実際に企業が求める高校生像、それに対する言動のあり方などをお話しいただきました。

生徒からは、「普段の行動から気をつけたい」という感想が多くありましたが、全くその通りだと思えます。日常を振り返る良い機会になったのではないのでしょうか。

## エイズ街頭キャンペーンから

十二月一日世界エイズデーにあわせて、今年も保健委員が、エイズ予防とエイズへの差別と偏見を払拭するためのキャンペーン活動を行いました。

十一月三十日には校内で放送や手作りパンフレットを配布して生徒や職員へ訴えました。

また、十二月六日には浅間酒造の駐車場をお借りして、住民や観光客の方へ、手作りパンフレットと「エイズの人達を差別しません」という意味のレッドリボンを配布しました。皆さんからは、「気を付けます」「がんばって」等と声をかけていただいた一方で、年配の方からは「俺たちには関係ないのでは？」という声も聞かれました。エイズは性行為のみの感染症ではないにもかかわらず、このような声が聞かれたことは、残念に思いました。

今回の活動を通して、正しい知識の普及と差別の払拭にはまだ時間が必要と感じました。

最後になりましたが、今年も快く場所を提供していただいた浅間酒造の皆様にご感謝申し上げます。



熱心に活動しました

# 芸術の秋に県高校芸術祭や長野原町文化祭が開催されました

## 群馬県高校総合文化祭から

十一月六日に高崎市の群馬音楽センターで、群馬県高等学校総合文化祭の開会式が行われ、本校からは生徒会役員の生徒が代表で出席しました。

開会式の第一部で行われた参加校紹介では群馬県内の全ての高校が登場しました。

本校からは、増子裕也君と三上遙さんが「長野原高校は地域の食材を生かしたオリジナルレシピ作りや、地域に根付いたボランティア活動をしています」と立派に発表しました。

そして、今年度行われた全国高等学校総合文化祭宮崎大会で優秀な成績を収めた生徒の表彰が行われました。続いて行われた第二部のアトラクションでは、和太鼓やテレビドキュメント、合唱など代表校の生徒が、高校生らしいみずみずしいエネルギーに満ちた立派な発表で客席を魅了しました。

この文化祭は、十月十五日から十一月十四日まで群馬音楽センターやシティギヤラリーなどを会場に、演劇や合唱、将棋・美術・写真等の全十八部門にわたって開催されました。

本校の文化部からは写真部が参加しましたが、増子裕也君の作品が優秀賞、高橋涼太君の作品が優良賞に入りました。

さらに増子君の作品「笑顔」と高橋君の作品「雄姿」は今年度の二月に埼玉県で開催される関東地区高校写真展に、また増子君の作品は八月に福島県で開催される全国高校総合文化祭写真部門に群馬県の代表作品の一つとして出展されます。今後の大会も楽しみなところです。



大型紙芝居は多くの方にご覧いただきました

## 長野原町文化祭から

毎年十一月三日に行われる、長野原町文化祭に今年も参加しました。

屋内運動場の広い会場の本校のブースには、書道や美術の作品・ものづくり部のペンチ・家庭クラブのかぼちゃクッキーの



家庭クラブのバザーは人気の的！

**《活躍した生徒（10～12月）》**  
 ◎日本漢字能力検定準(2級)朝比奈諒②市川絵奈③(準2級)浅井有実②黒岩あかね②(3級)齋藤有馬①佐藤迪①関健太郎①平石千紘①重田結歌①田村隆明②山本美紅②山本恵莉② ◎硬筆書写技能検定(3級)武藤忠行①星野伊織①田村ゆきね②藤川玲香③ ◎ワープロ実務検定(1級)斉藤真理③ ◎情報処理検定(3級)飯島悠平②田村隆朗②難波萌絵②野村悠人②峯岸悠馬②山崎祐実②浅見享平②黒岩亜騎羅②高山海翔②塚田ありさ②吉澤直樹②蟻川直也③矢野未来③ ◎群馬教育書道展入賞者(推薦)山口明日香③秋田夏美③市川絵奈③重田結歌①(特選)吉澤かえで③星野伊織①中山有紀①湯本涼介①宮崎寿史①高橋冠大①狩野美咲③田原沙紀③ ◎郡高校英語暗唱大会(5位)石坂佳美② ◎読み聞かせボランティア大賞(奨励賞)図書委員会 ◎長野原町青少年健全育成会表彰 図書委員会 JRC 家庭クラブ 生活部 ◎群馬県写真展(入選)高橋涼太②増子裕也② ◎高校芸術祭写真部門群馬県高校写真展(優秀賞)増子裕也②(優良賞)高橋涼太② ◎絵画キルト大賞(羽ばたけ賞)生活部 ◎おらほの田舎スイーツコンテスト(佳作)永谷茜③小野恵② ◎北軽井沢グルメレシコンテスト(金賞)竹淵悠里③ ◎ごはんDE笑顔プロジェクト選手権関東甲信越地区大会(優秀賞)竹淵悠里③ ◎永谷茜③秋田夏美③ ◎ペイシア21世紀財団助成事業対象団体 家庭クラブ ◎群馬県きのこ料理コンクール(奨励賞)竹淵悠里③  
 (丸数字は学年を表す)

## 頑張っています長高生!

昨年十一月に開催された群馬県高校総合文化祭写真部門で写真部の写真技術の底上げを目的に、年に数回研

習会等を開催しています。各校のレベルがかなり接近している中で、今年度は四五以内の作品の中からベスト二十以内の二人の作品が入賞できたことはかなり意義深いものがあります。

今後、二人の作品は関東地区高校写真展に、また増子君の作品は全国高校総合文化祭写真部門に出展され、それぞれ多くの優勝作品の中から審査されることとなります。

本校の全国大会への出場は新潟大会、北海道大会以来、実に十二年ぶりの出場となります。写真部は現在二名で活動していますが、「大リーグの松井選手もバットを振らなければヒットしませんでした。

十五席ほどの小さなスペースでしたが、どの回も満員で立見の方も出るくらいでした。

参加生徒も楽しみながら演じることができ、『年々上手になっていく』と嬉しい言葉をいただき満足できた一日でした。

家庭クラブは「かぼちゃクッキー」を販売しました。百袋(一袋五個入り)を用意しましたが、短時間で完売しました。クッキーを焼く作業も楽しく、地域の方々に喜んでいただくことができました。

生活部は、キルト「新緑の軽井沢」を展示しました。原田泰治先生(画家)の原画を布で表現して、「原田泰治の世界をキルトで遊ぶ第七回絵画キルト大賞」に入賞しました。カラマツの幹を裂き織りで表現する等の工夫をしています。地域のキルト愛好者の方々から、「毎年がんばっていますね。楽しみにしています。」



作品を前に増子君(左)と高橋君

「トはない！」を合言葉に、休日の個人活動や長期休業中の撮影会等シャッターを押す機会を多くして取り組んでいます。

二人の部員は器用な方ではないので「コツコツと基本に忠実に活動を続けてきました。そんな二人に女神が微笑んだのかも知れません。

来年度は群馬県を会場に関東地区高校写真展が開催されますので、是非とも出場できる様に活動したいと思えます。

「葉を掛けていただきます。今年で五年連続の応募ですが、タイトルは「電車の窓から」です。多くの時間を費やしましたが、作品のサイズは縦百四十cm、横百十cmです。三月二日まで、諏訪市原田泰治美術館に展示されています。

地域の方々に認めていただくことが、私たち生活部の大きなエネルギーとなります。紙面をおかりして、心より感謝いたします。今後とも支援をお願いいたします。